

（平成 21 年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会）

■日時 : 2008. 10. 18(土) 13:30~14:55

■場所 : 日本ビクター「けんぽ会館」2階大会議室

JVC シニアクラブ

(文責・総会書記:西郷治男)

#### 1. 開会 [13:30]

・司会の百瀬副会長より開会挨拶が行われ、続いて議長選出の事務局案が提案された。

#### 2. 総会役員選出

・議長に井上純一氏が登壇、自己紹介の後、書記が任命された。(役員含め、54名出席)

#### 3. 会長挨拶 [13:35]

・菅沼会長より挨拶。(9月より上部団体 JAM シニアクラブ会長に就任)

<要旨>

- ◆6年前に結成したJVCシニアクラブも発足当時は60名の会員だったが、今日では210名(議案書作成時点:198名)に到達した。毎年1人が1人を紹介しようという地道な会員増に取り組んできた結果がこの数字となったのであり、皆さんのPR活動に感謝する。
- ◆総会后、新田尊士氏から社会保障制度への対応の講演をいただくが、社会保障のみならず連日報道される社会の出来事は我々高齢者の生活に大きな影響を及ぼしている。年金、医療、介護どれをとっても「長生きは悪」かのように言われる昨今、JAMを構成する一員として我々は諸制度を改悪させないという強い目標を持ち活動していきたい。その意味で懇親・交流を主とした寿会とは性格を異にしており、シニアクラブは活動を通じて政策要求に結びつけていく点が重要で、今後もこの考え方で取り組んでいきたい。
- ◆もう一つの心配事は会社の経営状況であるが、本日は労組の君塚新委員長から詳しい話をいただくことになっており、労組の動向も含めた最近の状況の報告をお願いしたい。予定された議事が滞りなく進行するよう、皆様のご協力をお願いします。

#### 4. 来賓挨拶 [13:45]

・ビクター労組・君塚委員長より挨拶。

<要旨>

- ◆第7回シニアクラブ総会にお招きいただいたお礼と日頃のご協力に感謝申し上げたい。
- ◆9月のビクター労組定期大会で前宮本委員長の後を受けて新たに就任したが、ここ数年間歴史に残る厳しい時代が続いただけに、今後の責任の重さを痛感している。
- ◆まず、ビクターの直近の経営状況について。度重なる人員削減や経営改革を行い、労組としても再建策に取り組んできたが、危機は脱したものの未だ再建の道が見えず、加えて米国の経済破綻、世界同時株安など国内外の環境も一層厳しさが増してきている。現在、5年連続最終赤字を何としても回避すべく、国内ディスプレイ縮小、米国・欧州強化策など手を打ってきているが、先般発表の上期業績予想修正で最終損益は 81 億円の悪化となった。今後も労使一体となり目標必達に向けた再建策に取り組んでいく。
- ◆次に、経営統合について。電気業界再編の始まりとも言われたケンウッドとの経営統合は、ビクターにとっては大きな転換期として復活を果たす突破口としたい。10/1 に設立されたJVCケンウッドHDは横浜・本社ビルで両社社員が一緒になって仕事を開始している。双方の労組も互いに話し合いを進め、HDの諸条件の整備等に取り組んでいる。

- ◆最後に、ビクター労組の使命について。組合員の生活向上は不変であるが、将来への安心を基本に取り組んでいきたい。労働条件の対応は企業内の問題として解決し、年金、医療など生活を取り巻く問題は世の中の勤労者と一体となって改善を図っていく。
- ◆新たな船出をしたばかりであるが、皆様の力強いご支援・ご協力をお願いしたい。

## 5. 報告 [14:15]

・大西事務局長より(1)(2)一括で報告。

### (1)平成 20 年度活動報告 <議案書 2 ページ参照>

- ◆平成 20 年度末の会員数は 198 名で、今後も継続して会員増に取り組んでいく。
- ◆本部・支部主催の各種イベントは活発化してきており、3支部でイベントが開催された。

### (2)平成 20 年度会計収支決算報告 <議案書 3 ページ参照>

- ◆現役の組合援助 50 万円に対し、会費収入は 36 万円と少ない。会員増が第一である。
- ◆科目の中に予算対比で消化率の悪いものがあり、活動の活発化が必要である。

### (3)平成 20 年度会計監査報告 <議案書 4 ページ参照>

- ◆会計監査の橋本氏より、「7/31 現在の財務諸表を厳正に審査を行った結果、会計処理はすべて適正であることを認めた」との報告があった。

・報告事項に関する質疑なし。

～(1)(2)(3)一括し、拍手で承認

## 6. 議案 [14:25]

・田代幹事より、(1)(2)一括で提案。 続いて(3)(4)も提案。

### (1)平成 21 年度活動方針に関する件 <議案書 5～6 ページ参照>

- ◆①永遠のテーマは会員拡大であり、「1人が1人を」の紹介運動を継続 ②本部・支部の各種行事を企画し、親睦・研鑽の場とする ③陳情・署名活動など積極的に参加他。

### (2)平成 21 年度会計収支予算に関する件 <議案書 7 ページ参照>

- ◆最初に 20 年度実績の「支出合計」「繰越金」欄の数字に記載間違いがあり、これを活動報告で承認されたものに訂正。支出合計 950,703→913,436、繰越金 612,839→563,403
- ◆会費収入は 190 名を見込み、支出は活動費を重点に本部・支部行事を活発化すると共に、労組本部への依存体質(事務的な補助)の脱却を図る。

<質疑><Q>イベントは会員外の仲間の参加も配慮してほしい。(神奈川/吉村氏)

<A>会員拡大につながるものは積極的に対応する。 ～(1)(2)一括し、拍手で承認

### (3)規約一部改正に関する件 <議案書 8 ページ参照>

- ◆従来:総会「出席代議員」 → 改正:総会「出席会員」に変更。 ～拍手で承認

### (4)平成 21 年度・22 年度役員選出に関する件 <議案書 9 ページ参照>

- ◆新任 事務局長:田代 周氏(千葉)、幹事:橋本秀夫氏(神奈川)、井上純一氏(茨城)  
会計監査:大西伸二氏(神奈川) ～拍手で承認

- ・当日、所用で欠席者(高石氏、大高氏、飯田氏)を除き、新役員より各自己紹介・挨拶。
- ・労組・シニアクラブ事務局次長の伊藤和樹氏より退任挨拶があり、代わって新たに就任する西岡祥之氏、及び選挙対策期間中の代行:延廣堅太郎氏の紹介が行われた。

## 7. 閉会 [14:55]

・議長降壇、書記解任のあと、司会より閉会の挨拶があり、閉会。

以上

～総会終了後、15:15 より神奈川シニア連合会長 新田尊士氏より「社会保障制度・崩壊の危機への対応」と題してご講演をいただいた。 <講演資料参照>

～その後、場所を3階食堂ホールに移し「交流懇親会」が行われ、18 時過ぎに終了。